

<R7保護者アンケートの結果に関する考察>

○全体的な評価は、概ね高い。

○「あなたのお子様は、家庭学習の習慣が付いている」の項目では、昨年度の評価に比べて肯定的評価が18ポイント増加している。児童に宿題や自主学習の取り組み方を具体的に示すと共に、家庭との連携を深め、家庭での学習習慣が身につけられるように工夫したことが功を奏したようだ。

○「あなたのお子様は、学校の様子（学習のことや友だちのこと）についてよく話をする」項目では、昨年度の評価に比べて肯定的評価が7%増加となっている。良いことも悪いことも何でも話す習慣が、いじめや悩み事・困り事の早期発見にもつながるので、今後も継続できるよう家庭との連絡を密にしていきたい。

○「学校が行う参観日や、PTAの会合、説明会等の日時や回数、内容等は適切である。」は昨年度より評価が高くなっている。家庭訪問をはじめ、プール監視当番や愛校奉仕作業など保護者の協力を得なければいけないものも多くあり、さらには参観日と社会体育の競合、動員のかかるPTAの家庭教育研修会など、今後も適切に調整を図っていく。

△「学校は、子ども一人ひとりに目を配り、いじめ等が起こらないよう指導している。」の項目では、昨年度の評価に比べて肯定的評価が5ポイント減少している。児童にとって居心地のいい学校にしていくため、今後も小さいいじめも見過ごさない鋭い人権感覚を育成していきたい。

△「学校は、学校通信、学年通信、学校ホームページなどで、児童の様子や学校の取り組みなどについて十分発信できている。」については、高評価が8ポイントが下がった。今後さらに工夫を重ねたい。